

H24 要望30箇所 立ち会い調査実施結果一覧表

◎既に対応済み 実行できる対策案
 ◇条件付き対策案 現地での提案
 ×不可能

整理番号	住所	危険箇所	危険な理由	警察・県・市
1	足近町2丁目154-3付近	ビューティサロン伊藤南の交差点	東西は、小熊小方面から足近小方面まで抜ける道路であり、子どもは南北に横断する。自動車の通行量も多く、スピードも出ているため、横断時に注意が必要。横断歩道や看板は設置されている。	
2	足近町7丁目13-2付近	スタミナ太郎の東の交差点付近	児童が横断歩道を渡る際に、前方のカーミラーで安全を確認しにくい。また、左右に樹木があるため、一歩道路側に出て安全確認をしなければならない。幹線道路につながる道路であるため、交通量も多く、児童だけの横断が大変危険な状態である。	◎角の家の樹木伐採について県から家主に依頼する。 ◇ミラーや横断歩道については警察に依頼する必要がある。
3	足近町市場180-2付近	美乃路自動車(株)から市場のバス停	南北の道路の道幅が狭い割に、交通量が多く、スピードを出す車も多い。子どもは東西方向に横断する。登校時(東→西)の横断時は、比較の見通しがよいが、下校時(西→東)の横断時の見通しが非常に悪い。横断歩道や看板などないため、子どもが横断する場所だというドライバーの意識は低いと思われる。	×横断歩道は待ち場がないので設置できない。 ◇カラー舗装(土木監理課) ◇横断旗のボックス設置、看板設置(防災交通課)
4	足近町南宿919付近	マルヒコ(株)の東の通学路	道幅が狭い割に、交通量が多く、スピードを出す車も多いため、危険。	
5	足近町南宿2943付近	白山神社の東の交差点付近	朝夕は、大変交通量が多いが、通学路に白線で区別された歩道がなく、児童の横を車が通り、大変危険である。また、複雑な交差点でありながら、周囲に横断歩道がなく、安全に道路を横切ることができない。この交差点周辺で、中学生と自動車の接触事故も発生している。	◎県道のラインを引き直す。 ◇緑石をつくって待ち場を確保(土木監理課)すれば、横断歩道の設置について検討可能(警察)。
6	小熊町西小熊4296付近	一乗寺 東の交差点	朝の横断時に、南から来る車が見えにくく、カーミラーの向きも正面を向いているため、安全確認ができず、大変危険な状況である。長良大橋につながる道路でもあり、朝夕の通行量も比較的多く、50km程度の速度で走行している自動車も多い。また、横断歩道の標識も傾いており、設置位置も横断歩道の直前のため、標識が十分機能していない。	◎カーミラーは土木監理課にて調整済。
7	小熊町外栗野2丁目14付近	外栗野公園の北の交差点付近	道路が狭く、ぬけ道になっているため交通量も多い	×横断歩道は現状のまま。 ◇横断歩道の北側にラインを引くかどうか相談。(土木監理課)
8	正木町不破一色303付近	札幌歯科医院の北東の交差点	朝夕は、通勤の車が大変多い。横断時は、徒歩の小学生と自転車の中学生がおり、横断は素早く渡る必要がある。信号や横断歩道はあるが、横断歩道前後に看板等が設置されていない。	
9	正木町不破一色271-2付近	不破一色公民館の南の通学路	道幅が狭く、2列歩行ができない。1列歩行でも、車同士のすれ違い時は危険である。歩道もセンターラインもない道路で、車はスピードを出すので、危険である。	◇道路南側に歩道と車道を区別するラインを一本引く。(土木監理課)
10	正木町坂丸4丁目3付近	正木小学校西門付近	道路が拡張され、歩道、横断歩道、カーミラー等設置されたが、南北の道路を自動車結構なスピードで走り抜けていくようになったので、注意が必要。登校時、左右が見えにくく、カーミラーを設置してもらったが、注意が必要。	◎7月18日ライン等引く。(県)
11	正木町新井905-1付近	パチンコ・エイブ第2駐車場の南	下校時、見通しが悪い。特に右から来る車に注意が必要。	
12	竹鼻町丸の内9丁目26付近	消防署の北東の交差点	広めの道路で交通量もあるのに、横断歩道がない。竹鼻小学校で、通学路の変更も含めた対応策を検討中。	
13	竹鼻町丸の内3丁目64付近	用水路沿いの通学路	車が行き違いをするとき、車が歩道にはみ出す箇所なので、危険である。しかも、車道と歩道の区切りになる白線が消えかかっているため、ドライバーの注意もそがれやすい。一部地域の児童は、保護者の判断で通学路を変更したが、まだ15名の児童がここを通学路として利用している。	◎ラインを引き直す予定。(土木監理課)
14	竹鼻町丸の内6丁目119付近	文化センター第7駐車場南西の交差点	道路がカーブしていて、通学中の児童生徒に車が突っ込む可能性のある箇所。	

15	竹鼻町丸の内5丁目15付近	羽島皮唐科の東側の通学路	やや細めの道路(道幅5～6m程)で、車がスピードを出して通る箇所。車道と歩道を分ける白線が消えかかっており、運転手の歩行者に対する意識が低くなりやすく、減速等なかなかしてもらえないと考えられる。	◎ラインを引き直す予定。(土木監理課)
16	竹鼻町丸の内5丁目136付近	竹鼻小の西の交差点	道路がカーブしていて、通学中の児童生徒に車が突っ込む可能性のある箇所。通学路の変更はできない。	
17	竹鼻町今町2401-1付近	竹鼻小の東の通学路	車が行き違いをするとき、車が歩道にはみ出す箇所なので、危険。時間帯規制の道路標識が、北からの車には見えるが、南から来る車からは見える場所ではなく、西に曲がって初めて見える状態になっていて危険。	◇道路の舗装を直す。 ◇歩道のラインや路面のペイントを施す。(土木監理課)
18	竹鼻町神楽町2392付近	八剣神社の南の通学路	道路がカーブしており、通学中の児童生徒に車がつっこむ可能性がある箇所。やや細めの道路(5～6m)で、車もスピードを出して走る箇所。八剣神社の方面から登校する児童にとって、道路を横断するための横断歩道がなく、自動車の運転手からは意識されず、危険。	◎「進入禁止」の看板を設置する予定。(防災交通課)
19 20	(1)上中町長間6-1付近 (2)上中町一色1148付近	長間・一色道路	(1)カーブで見通しが悪く、交通量が多くスピードを出す車が多い。南北に通っている県道118号線と県道166号線を結ぶ道路として、多くの車が通っている。付近は住宅地で、通勤の車も多い。南部から通ってくる児童は、この道を横断しなければ学校への行き来ができないが、横断歩道がないため、非常に危険である。 (2)1つの地区(一色)を裂くように主要県道が通っているため、同じ地区にも関わらず、分かれて登校している。交通量が多く、また(2)の場所では死亡事故も発生しており、非常に危険であるため現在は通学路にはしていない。しかし、夏休みのラジオ体操など、地区行事に参加する時には、地域を分断しているこの道路を通らず、遠回りをして集合場所に行く必要がある。	◇20については、県に要望も出したが、現実的には不可能、というのが、警察の意見。
21	福寿町本郷176-2付近	福寿小の南の通学路	道幅が、3～4mしかないが、児童が通学する時間帯に通勤で通る車がある。児童は1列で歩行し、できるだけ用水側に寄って待機するように指導しているが、パイプ柵を挟んで水路があるため、特に低学年の児童は危険である。	◎秋、学校前に押しボタン式の信号と横断歩道が設置される予定。 ◎来年度以降、浅平公園西に歩道付きの道路ができる予定。(区画整理課)
22	福寿町本郷1090付近	福寿小の北西の通学路	抜け道としてスピードを出して通る車や自転車が多いため危険。	
23	福寿町本郷1214付近	福寿保育園の南東の交差点	通勤等のため、堤防に向かう車の交通量が多い。信号もなく、道幅も狭いが、通勤時には急いでいる運転手がスピードを出して走ることもある。児童は、学校への行き帰りに横断しているが、その際、危険を感じる。	×横断歩道は待ち場がないので設置できない。 ◇カラー舗装・ライン引き舗装直し(土木監理課) ◇ミラーの足下に看板を設置(防災交通課)
24	福寿町平方64-1付近	(株)原商事の東の交差点	堤防道路からの車が、停止線で一旦停止をせずに左折することが多いことや、南西から左折する車も多いことから、児童が横断歩道を通るとき危険である。	
25	福寿町千代田68-21付近	ココス羽島店の北東の交差点	大垣一宮線の交差点。信号のある交差点で、交通量が多く、横断歩道の信号が短い。	区画整理課と相談 →福寿小学校南の押しボタン式信号機設置後の通学路が確定してから対応。
26	福寿町千代田68-21付近	ココス羽島店の東の通学路	交通量が多いため、車道に近づく危険。	区画整理課と相談 →福寿小学校南の押しボタン式信号機設置後の通学路が確定してから対応。
27	福寿町浅平4信号交差点	和食「さと」の北東の交差点	大垣一宮線の交差点。信号のある交差点で、交通量が多く、横断歩道の信号が短い。	
28	堀津町前谷7付近	桑原用水西幹線	道路が整備され、車の通行量が急増した箇所。6m以上ある道路の横断歩道がない交差点を、児童は南北に横断する。付近にも横断歩道はなく、迂回することもできない。	
29	桑原町大須78付近	桑原小の南西の橋	橋の西側手前までは、緑石も設置された歩道があるが、橋にかかった途端、歩道も緑石も白線もない状態になっている。車道もそれほど広くないが、それでもスピードを上げて通っていく車もあり、そのすぐ横を児童生徒が通っており、非常に危険を感じる。	
30	桑原町東方856付近	桑原町東方信号の西交差点	生徒が北進する際、東西の見通しが悪い。また、朝の通学時間帯に堤防から下りてきた自動車がスピードを上げて通ることが多く、ヒヤリとすることがよくある。小学生は通学班でまとまって通ることはないが、近くに住んでいる児童が、個々で通るため、ドライバーから見落とされやすい。	